

ボジョレー速報 2015 年

今年もボジョレーヌーヴォーの季節がやってくる！

2014 年は、中盤から天候が崩れ、このままで悪天候が続くと 2012 年、2013 年よりも不作なのは！？と誰もが心配をしたのだが、最後の最後で奇跡とも思われる天候に恵まれ、まるでドラマを見ているようなブドウの回復劇があった。

さて、2015 年は、今のところブドウの生育が順調で、病気ひとつなく開花も全て問題なく終わり、幸先の良いスタートを切っている！ブドウのひとつひとつにも艶があり、近年の不作を吹き飛ばすかのようなエネルギーを感じる！このまま天候に支障がなければ、ビックヴィンテージになる可能性は十分にありそうだ！

★カリーム・ヴィオネ

2015 年は、ヌーヴォーの当たり年となる可能性が高く、日照量の多かった 2009 年を彷彿させる！

ランシエのヌーヴォーの畑は、未だかつてないほど均一にブドウが付いている。ブドウの実に蛾の被害が多少あるが、その実も全て乾ききって健全な房だけが残っている！

今年は、春のスタートから順調で、4 月から雨がほとんど降らず、空気が乾燥していたおかげでブドウの病気が全くない。畑の散布も今のところ硫黄を 2 回撒いただけ。昨年この時期はすでに 5 回は散布しているので、半分にも満たない量でブドウの病気対策ができています。開花は 6 月頭から始まり、ものの 2 日で全ての花が咲き終わりました。このままのペースで行くと収穫開始は 9 月の頭、もしかしたら 8 月下旬ということも十分あり得る！

また、今年は、品質向上と醸造の管理を高めるために、カーヴ内に全てエアコンを設置し、醸造タンクは古いセメントタンクからファイバータンクに変わる。さらに昨年の終わりに新しく設置した、ブドウを 10 度以下まで冷やす冷蔵庫を稼働させる予定で、暑い日の収穫にも万全の対策を整えている！



畑について語るカリーム！



地面は非常に乾燥している

★ジャン・フォワヤール

今年の開花は6月1日頃から始まり、例年よりも2週間ほど早い！開花は2日であつという間に終わり全てうまく行った。6月13日に60mmの大雨が降ったが、今のところブドウの病気は一切なく、むしろ全体的に水不足の傾向にある。

ここまでは大体2014年とペースがほとんど同じ。ただ、去年は7月中旬から天候が一気に崩れてしまったので、今の時点でビックヴィンテージと断定するのは難しいが、もしこのまま天候が崩れず乾燥した天候が続けば2009年のような当たり年、さらに猛暑が加われば、2003年のようなヌーヴォーの当たり年となり得るだろう！



順調な気候で笑顔がこぼれるジャン！



ブドウは何の問題もなく順調に生育している！

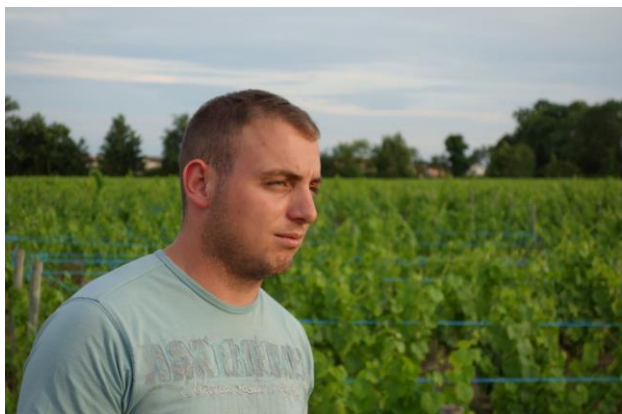
★フレデリック・コサル&ケヴィン・デコンブ

《フレデリック・コサルのコメント》

2015年は、今のところビックヴィンテージを彷彿させるような理想の天候が続いている！冬に十分な雨が降り、春は霜の被害もなく快晴の日が続き、開花も10日ほど早かった。ブドウの房も病気が一切なく輝きを放っている！このまま天候が崩れなければ、間違いなく2009年を超える素晴らしいミレジムになるだろう。

昨年ケヴィン・デコンブと一緒に新たなヌーヴォーを手掛け、初年度から果実味溢れるイメージどおりのワインをつくりあげることに成功したが、今年はここで満足するのではなく、よりワインの完成度を高めて行きたいと考えている。買いブドウのセレクションについては、昨年よりもエレガントで高品質なブドウを手に入れられるように、早い時期から動き出している。醸造面については、今はケヴィンがより私が望むヌーヴォーのスタイルを理解してくれているので、昨年よりも大きなアドバンテージがあると感じている。

恵まれたヴィンテージ、高品質のブドウ、ケヴィンの経験、これらが揃えば昨年以上の傑作が出来上がるだろう！



現状に満足することなく更なる高みを目指すケヴィン！



完璧な結実！

3人の話を聞くと、2015年は当たり年が大いに期待できそうだ！だが、油断は禁物！ジャンの言う通り、2014年は7月から天候が崩れ、当たり年と思われた雰囲気を一蹴した。現在、天気が良く気温が高い分、これからの突然の雷雨と雹のリスクには注意が必要だ！果たして今回はどのような朗報が待っているのか！？次のレポートもお楽しみに！

2015年6月19日、20日訪問レポート